

イージーピールフロアケア 資機材

環境負荷低減樹脂ワックス イージーピールコート



NET 18L

- 強アルカリイオン電解水で除去
マシンとパッド組み合わせて剥離します。
 - 環境負荷低減(無リン・亜鉛フリー)
 - すぐれた密着性で滑りにくい
 - ヒールマークがつきにくい
 - アルコールで白化しにくい
- ※JR東日本運輸サービス 株式会社ユシロ 共同開発品



エコマーク商品
25167013

株式会社ユシロ

床用ワックスや洗浄剤などのビルメンテナンス製品メーカー。“技術力”を武器にお客様へ最適なソリューションを届けます。

開発について
インタビュー記事
掲載中!!



アルカリイオン電解水生成器 ZKシリーズ



- 環境汚染物質ゼロ
溶剤、界面活性剤を含みません。
- 残留性ゼロ
リンス無用で作業時間短縮。
- ウイルスや病原菌に有効
エビデンス取得済み。

電 源:100V
消費電力:250W
生成能力: pH12.5 5L/15min
pH13.1
1L/15min
生成方式:連続生成

蔵王産業株式会社

国内、海外のメーカーと共同開発した高品質な環境クリーニング機器などの販売を通じ、社会へ環境美化と安全、衛生、省力化の提供を目指しております。



排水処理装置 イージーピールセパレーター



- 大規模プラント不要
簡易処理装置で凝集・攪拌・ろ過を実現
- リサイクルを実現
Wax残さを適正処理で「有価物」へリユース
- 機器スペック
装置本体(548W×580D×1574H)
第一槽(凝集・攪拌部) 第二槽(ろ過部)
攪拌制御(110V 90W スピードコントロールモータ)

JR東日本運輸サービス

JR東日本のグループ会社として首都圏鉄道車両7,661両のメンテナンスを担当(清掃・車両入換・車両検査)
※2023年10月現在



セパレーター用消耗品



- ① 中和凝集剤8kg ② 1次フィルター
③ 2次フィルター ④ 3次フィルター ⑤ 専用活性炭 8kg
<特許第5468171>

リサイクル製品

おう吐物凝固剤
プラボトル 100g
詰め替え用 4kg



一般社団法人 床ワックスをリサイクルする会

2015年に設立された非営利型法人です。セパレーターで分離回収した床ワックス残渣を有価物として買取り、再生加工して製品原料にリユースします。また、2014年環境省カーボン・オフセット支援事業に採択された計算方法に基づき、脱炭素型床清掃に対して「CO₂排出量削減証書」を発行します。



CO₂排出量が削減できる
新しいフロアメンテナンス

イージーピール フロアケア

亜鉛
ゼロ

床清掃の 脱炭素化

産廃
ゼロ

はくり剤
ゼロ

廃液
ゼロ

EASY PEEL FLOOR CARE

イージーピールフロアケア

ワックスを簡単に剥がして、廃液はリサイクルする、
環境に優しく安全な定期清掃フロアケアシステム

JR首都圏各線区

約**6600**両で採用

環境負荷低減樹脂ワックスを塗布

亜鉛
ゼロ



作業は従来と変わらず簡単

首都圏を走行するほぼすべての在来線車両に塗布しています。1日最大約50万人が乗降する環境でも3ヶ月以上の耐久性があります。

アルカリ電解水ではくり

はくり剤
ゼロ



はくり剤不要で高い安全性

従来のはくり作業と違い、誰でも楽にはくり作業ができます。すずぎ工程の省略で節水を実現。また、滑りにくいので転倒事故が起こらない安全な環境で作業をおこなえます。

排水処理装置で固液分離

廃液・産廃
ゼロ



処理した水は
水質汚濁防止法基準クリア

今まで大規模な処理装置を必要としていた排水の処理を、簡易な排水処理装置のみで水と固形物に分けることができます。

分離したワックス成分をリサイクル



強アルカリイオン電解水で剥離された床ワックスの皮膜は、多量の液体を吸収する多孔質構造なので、水分を吸収する嘔吐物凝固剤、あるいは油分を吸収するアスファルト補修材に再利用されます。(特許 第 5468171)

ワックスはく離廃液と 処理水の水質検査結果

規制項目	廃液	処理水	水質汚濁防止法規制値
水素イオン濃度 (pH)	10.9	7.3	5.8～8.6
浮遊物質 (SS)	13300	2.8	60
生物化学的酸素要求量 (BOD)	885	4.7	160
ノルマンヘキサン抽出物含有量	958	<0.5	30
亜鉛含有量	35.8	<0.1	2

単位：mg/L

イージーピールコートリペア水リサイクルシステム CO₂削減試算(年間)

- 前提条件：凝集物(ワックス乾燥残渣)を処理しないでイージーピール・嘔吐物凝固剤の製品原料としてリユースすること。
- 試 方 法：環境省「平成26年度カーボンオフセット認証取得支援事業」に採択された計算方式をベースに行う。
CO₂排出係数経済は産業省CO₂排出係数より(資産方式と連動しています。)
- 対 象：(株)JR東日本運輸サービス 中原事業所 * 施工車両数=1編成(6両)×36本

CO ₂ 削減項目			
No.	CO ₂ 排出原 / エネルギー	CO ₂ 排出係数	排出原単位
1	水	0.23	(Kg-CO ₂ /t)
2	電力(マシン類)	0.55	(Kg-CO ₂ /kWh)
3	廃プラスチック	2.556	(Kg-CO ₂ /kg)
4	廃油	2.919	(Kg-CO ₂ /kg)
合計			

Before … 従来工法では				
使用量 / 両	施工 * 車両数	作業回数 / 年	使用量 / 年	CO ₂ 排出量 (Kg) / 年
0.024t	216	12	62.2	14.3
0.6kw	216	12	1555.2	855.4
0.7kg	216	12	1814.4	4637.6
0.4kg	216	12	1036.8	3026.4
				8534

